

文化財韓訳スタイル・マニュアル:約物編

扈素妍[†]

[†] 奈良文化財研究所

Style Manual for Korean Texts on Cultural Heritage: Punctuation

Ho Soyeon[†]

[†] Nara National Research Institute for Cultural Properties

凡例

- (1) 本マニュアルは、奈良文化財研究所多言語チームが推奨している文体や文法などのルールを記録したものである。
- (2) 本マニュアル(約物編)は以下の規定・書籍を参考にした。
「한글 맞춤법」文化体育觀光部告示第 2017-12 号(2017.3.28 施行)(<https://kornorms.korean.go.kr/regltn/regltnView.do> 2022.12.21 閲覧)
『2015 국립중앙박물관 전시품명칭용례집』(국립중앙박물관, 2015)
- (3) 使用する例文はすべて奈良文化財研究所の出版物による。個別の出典は省略した。
- (4) 韓国語には全角の文字・記号・数字は使用しないため、韓国語訳における全ての約物は半角にすることを前提とする。

1 記述記号

1.1 区切り記号

1.1.1 句点、ピリオド 。。

韓国語では「。」を使用しないため、横書き・縦書きに関わらず、ハングルフォントの句点(마침표, 온점)である「.」に統一する。「.」の後ろに再び文章が来る場合、「.」の後ろに半角スペースを入れる。

例① 奈良文化財研究所は、文化財を総合的に研究するための機関です。

訳例 나라문화재연구소는 문화재를 종합적으로 연구하기 위한 기관입니다.

1.1.2 読点、コンマ 、、,

韓国語では文章の構成要素としてスペースを入れる方針が定められているため、読点(쉼표)・コンマは主に①名詞の列挙や順序を示す言葉の使用、②「곧」

(すなわち)、「다시 말해」(言い換えれば)のように繰り返して説明する副詞の前に、③文章の前部で助詞なしで登場した提示語・主題語の後ろに、④一つの文章に同じ意味の語句が繰り返される時に、⑤倒置文などに使われる。

以上で使用される場合、横書き・縦書きに関わらず、ハングルフォントによる半角コンマ(쉼표, 반점)である「,」に統一する。また、「,」の後ろに半角スペースを入れる。

例① 平城京は東西約 4.3km・南北約 4.8km の範囲を中心に、東側に東西約 1.6km・南北約 2.1km の張り出し部分(外京)があり、北辺西側にも北辺坊とよぶ区画がありました。

訳例 헤이조경은 동서로 약 4.3km 남북으로 약 4.8km 크기의 지역을 중심으로, 동쪽에는 동서로 약 1.6km 남북으로 약 2.1km 의 돌출된 부분(외경)이 있었으며, 북측 가장자리의 서쪽에도 북변방(北辺坊)이라고 하는 구역이 있었습니다.

例② 第一、木簡
第二、古文書

訳例 첫째로, 목간
둘째로, 고문서

例③ 三四回

訳例 3, 4번

1.1.3 コロン、セミコロン : ;

韓国語ではセミコロンを文章記号としてほとんど使わないため、韓国語語文規範ではコロン(쌍점)「:」の使い方のみが規定されている。韓国語でコロンは、①用語に対する説明、②演劇などで登場人物の会話内容を示す時、③時・分・秒、巻・章・節の区切りの際、④「対」の代わりに使用する。文化財翻訳ではこの中で①が最も必要な用法で、日本語原文内容には含まれていない情報や定義などを伝える時に使用する(例①)。使用する時は、ハングルフォントの半角にして、「:」の後ろに半角スペースを入れる。

例① また、近年では、地中レーダー(GPR)探査も実用化されている。

訳例 또한, 최근에는 땅 속 레이더 (GPR: 지표투과레이더) 탐사도 실용화되어 있다.

1.1.4 中黒、中点 ・

韓国語で中黒・中点 (가운데점) は、①列挙された語句を一定の基準で束ねて表記する場合、②対となる語句の間、③共通成分を略して一つの語句にする場合に使用する。一方、韓国語では一般的な列挙の場合は中黒を使わずに、「,」を使う (例①)。また、②や③の場合も「・」の代わりに「,」を使える。

以上の用途に符合して中黒を使う時は、ハングルフォントの半角中点「・」に統一する (例②③)。

例① 平城京の中央北端につくられた古代日本の政治・経済・文化の中心である。

訳例 헤이조경 중앙 복단에 위치한 고대 일본의 정치, 경제, 문화의 중심지이다.

例② 緑・黄・青などの釉薬をかけた中国の陶器「唐三彩」をモデルに日本で「奈良三彩」が作られたのも、このような交流の成果でした。

訳例 초록・노랑・파랑 등의 유약을 바른 중국 도자기인 「당삼채 (唐三彩)」를 모델로 일본에서 「나라삼채 (奈良三彩)」가 만들어졌던 것도 이러한 교류의 성과입니다.

例③ 第32・33・34巻

訳例① 제 32・33・34권

訳例② 제 32, 33, 34권

1.1.5 疑問符、感嘆符 ？！

疑問符 (물음표)、感嘆符 (느낌표) など感情または口調を表すものはハングルフォントに沿って半角のものに統一する。また、段落途中で使われる疑問符・感嘆符のうしろに半角スペースを入れる。

例① 奈良時代を体験!! 人面墨書土器を描こう

訳例 나라시대를 체험! 인면 묵서 토기를 그려보자!

1.1.6 斜線、逆斜線 / \

韓国語での斜線(빗금)「/」は、①対比される二つ以上の語句を束ねて表す、②基準の単位に当たる数量を表示する、③詩の行が変わる部分を表示するために使用する。使用するには、半角スラッシュ「/」に統一する。①と②の場合は「/」の後ろにスペースを入れない。③の場合は、原則的に「/」の後ろに半角スペースを入れる。

一方、韓国語では逆斜線をほぼ使用しないため、特に規定はない。日本語原文で逆斜線がある場合は、その使い方に応ずる韓国語の記号を選ぶか、そのまま使う場合は半角にする。

例① 『妙音寺／妙音時洞穴』

訳例 『묘운지 절(妙音寺)/묘운지 절 동혈(妙音時洞穴)』

1.2 くり返し符号 々〃ゝゞゝゝなど

韓国語では、くり返し符号というものがなく、使用しない。そのため、日本語のくり返し符号は形態に関わらず、その単語の意味を翻訳するか、固有名詞の場合くり返す部分の漢字を日本語発音のハングル読みで書き出すこととする。

例① 玄宮楽々園

訳例 겐큐라큐라큐엔(玄宮楽々園)

1.3 つなぎ記号

1.3.1 ハイフン・ダッシュなど連字符 - = — —

韓国語でハイフン(붙임표)「-」は、①順次に繋がる内容を一つに束ねて列挙する時、②二つ以上の語句が密接に関連していることを示すために使用する。また、ダッシュ(줄표)「—」は、①副題を表記する時に、その前後につけて使う(例①)。一方、人名を表記する時にハイフンや二重ハイフンは使用しないため、適宜ハングル表記を探して表記する(例②)。日本語原文のままにハイフンと二重ハイフンを使用する時は、ハングルフォントの半角にする。

例① 「未来につなぐ平城宮跡—保存運動のあけぼの—」

訳例 《미래로 이어지는 헤이조궁터—보존 운동의 여명—》

例② クロード・レヴィ＝ストロース (Claude Lévi-Strauss)

訳例 클로드 레비스트로스

1.3.2 波線 ～～

文章の中で範囲を表示する波線（물결표）は、韓国語でも期間・距離・範囲を表すために使う（例①）。また、破線のかわりにハイフンを使用することもできる。波線やハイフンを使用する時は、ハングルフォントの半角にする。

例① 12/29～1/1

訳例① 12/29～1/1

訳例② 12/29-1/1

1.3.3 リーダー … ……

韓国語訳でのリーダー（줄임표）は原則的に六点リーダー、もしくは六点の句点（마침표）を使うが、三点リーダーの使用を許容されている場合は使っても問題ない。また、リーダーの後ろに句点がある場合は、ハングルフォントの句点（마침표, 온점）をつける（例①）。この場合は、リーダーの後ろにスペースを入れない。しかし、リーダーの後ろに文章が続く場合はリーダーの後ろに半角スペースを入れる。

例① 果して手習いの成果は…。

訳例 연습의 성과는 과연…….

2 括弧類

2.1 引用符、括弧(角・亀甲・中・大) “ ” () [] { }

韓国語では、“ ” は①会話文、②言葉や文章を直接引用する時に使用する。また、“ ” は主に引用文の中の引用文を示す時に使用する。() の使い方は、日本とほぼ同様であるが、表記するときはハングルフォントの半角にする。二個以上並ぶ時はその間に半角スペースを入れる（例①）。[] は、[] と併用できる。[] は①括弧 () の中に括弧を使う時に外の括弧として使用（例②）、②固有のハングル言葉に対応する漢字語を併記する時に使用、③原文に説明や論評を付け足す時に使用する。

{ } は①列挙された項目中一つを選ばれると示す時に、②同じ範疇に属する多様な要素を束ねて縦で見せる時に使用する。

一方、韓国語では「【】」の使用に関する規定はない。日本語原文で「【】」がある場合は、その使い方に応ずる韓国語の記号を選ぶか、そのまま使う場合は半角にする。

例① “第一次大極殿” “第二次大極殿”

訳例 “제 1차 다이교쿠펜” “제 2차 다이교쿠펜”

例② 707年（慶雲4）

訳例① 707년 [케이운（慶雲）4]

訳例② 707년 [케이운（慶雲）4]

2.2 二重鍵括弧、二重山括弧 『』《》

韓国語では、二重鍵括弧（겹낫표）と二重山括弧（겹화살괄호）を書籍の題目や新聞の名前を表記する時に使用する（例①）。そのため、日本語原文で『』《》を別の用途で使った場合は他の括弧を使用することを勧める。使用する時は、ハングルフォントの半角にする。

例① 『大阪毎日新聞』

訳例 『오사카 마이니치신문』

訳例 《오사카 마이니치신문》

2.3 山括弧、鍵括弧 <>「」

韓国語では、山括弧（홑화살괄호）と鍵括弧（홑낫표）を小見出し、絵や音楽曲のような芸術作品の題目、商号、法律、規定などを示す時に併用する（例①）。また、山括弧と鍵括弧の代わりに‘ ’の使用も許容されている。日本語原文で引用・強調を表すために鍵括弧「」を使った場合は、韓国語訳する際には、“ ”を使い、“ ”の中にさらに引用・強調があれば‘ ’を使用することを勧める。使用する時は、ハングルフォントの半角にする。また、二個以上の記号が並ぶときは、閉ざす括弧と次の開く括弧の間に半角スペースを入れる（例②）。

例① 緑・黄・青などの釉薬をかけた中国の陶器「唐三彩」をモデルに日本で

「奈良三彩」が作られたのも、このような交流の成果でした。

訳例 초록・노랑・파랑 등의 유약을 바른 중국 도자기인 「당삼채 (唐三彩)」를 모델로 일본에서 「나라삼채 (奈良三彩)」가 만들어졌던 것도 이러한 교류의 성과입니다.

例② 村上隆 「『富本銭』の材質に関する材料科学的研究」『文化財論叢Ⅱ』2002。

訳例① 무라카미 타카시 (村上隆) < “후혼센 (富本銭)” 의 재질에 관한 재료 과학적 연구 >, 《문화재논총Ⅱ》2002。

訳例② 무라카미 타카시 (村上隆) 「『후혼센 (富本銭)』의 재질에 관한 재료 과학적 연구」『문화재논총Ⅱ』2002。

3 数学記号、学術記号、商用記号、その他しるし物 + × ≥ % © → ★ ♪ など

韓国語訳でもそのまま使用するが、すべてハングルフォントにして半角で統一する。